

切串小学校改修と切串保育園建設について

角増 正裕 議員

答 平成33年度までに整備



角増 旧切串中学校跡地の建物4棟(校舎、家庭科室、技術室、体育館)とテニスコートについて残すものはあるか。

市長 平成31年度に基本設計策定する際に検討します。

角増 切串保育園建設予定地は旧切串中学校跡地のどの辺りか。

市長 こちらも基本設計策定の際に検討します。

角増 基本設計に入る前に方針を示してほしい。設計が済んでからでは変更が困難になる。

デイサービス施設について

角増 平成30年7月豪雨災害で利用できなくなったデイサービスセンターの里利用者の現状は。

市長 この施設からは平成31年3月末日までの休止届が出ています。現在、約30名の利用者のうち、他の施設でのデイサービスを待っている方が2人です。

角増 待機者がいる状況は新たな利用者がサービスを利用できない状況でもあり大きな課題である。市内のデイサービス施設の利用者は、今年9月末現在の利用者は、江田島町が1施設96人、能美町が1施設87人、沖美町が2施設77人、大柿町が6施設181人の合計441人となっています。

市長 今回の断水を踏まえ、市内の社会福祉法人では災害時相互応援に関する連携協定の締結に向けて調整をしています。この協定によって安定的なサービスの提供ができると考えています。本市としても介護施設と災害時における支援内容をあらかじめ協議するなど安心して介護サービスを利用できるように環境を整えてまいります。

角増 断水時における要介護者の入浴支援は。

切串小学校改修と切串保育園建設のスケジュール	
平成30年度	切串小学校改修の実実施設計 旧切串中学校校舎を切串小学校仮校舎へ改修
平成31年度	旧切串中学校校舎を切串小学校仮校舎に利用
	切串小学校改修工事 【具体的内容】 ・エレベーターの新設 ・空調設備更新工事 ・トイレの洋式化 ・校内LAN工事 ・外壁の改修 ・屋上防水の改修
	旧切串中学校解体の設計
	切串保育園新築工事の基本設計
平成32年度	旧切串中学校解体工事 切串保育園新築工事の実実施設計
平成33年度	切串保育園新築工事



避難困難者を守る対策は

平川 博之 議員

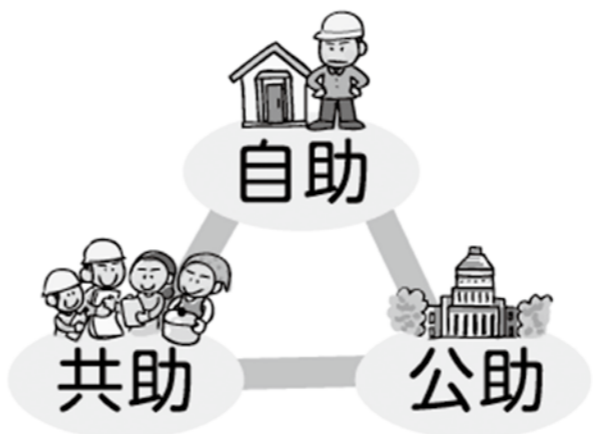
答 避難行動要支援者名簿による避難時の支援をお願いしている

平川 避難困難者を守るためどのような対策を考えているのか。

平川 避難場所に多くの課題を感じるが、今後の取り組みは。

市長 情報手段の確保、食事の提供、トイレの設置状況の確認、避難の長期化等に対応できるように処置を講じる必要がある。被災された方が長期に生活を送る避難所として生活に必要な食料や毛布等の備蓄をしています。また、物資供給の協定も結んでいます。避難された方のストレスが少しでも減少できるよう取り組んでいきます。

平川 互助の取組・自助の意識を高めるためどのような取り組みをしているのか。



危機管理監 地域防災リーダーの育成や市民一斉の避難訓練・出前講座や地域での防災訓練などにより、市民一人一人が助け合い、適切な行動ができるよう、取り組んでいるところです。

平川 防災意識向上のために子供防災手帳の作成は。

危機管理監 調査・研究してまいります。



予算編成方針について

酒永 光志 議員

答 災害復旧に全力を尽くし職員の意識改革を進める

酒永 予算編成方針を定めるに当たり、どのような指示をしたか。

市長 ①災害復旧に全力を尽くすこと②職員それぞれが課題に向き合い、自ら考えて実行する職員の意識改革と大きく2つの方針を指示しました。

酒永 予算審査、決算審査特別委員会の個別意見の反映については。

市長 全職員に周知し、的確に予算に反映させることを方針に示すとともに、予算ヒアリング時に対応状況の聞き取りを行っています。

酒永 編成方針にある3計画一体の取り組みは。

市長 第2次総合計画、第2次財政計画、第3次行政改革大綱の3計画の連携により、そのバランスの中でメリハリをつけ予算編成を行います。

酒永 第2次財政計画の豪雨災害復旧費を考慮した再度の見直しを含め今後の計画は。

市長 7月豪雨災害の発生により、見直し作業が遅れが生じ、新年度において災害復旧費も反映させた見直しを実施します。また、合併特例債の発行期限が延長されたことから、第3次財政計画は事業の調整を含めて計

画策定を行います。

安全・安心対策について

酒永 舗装道路が傷むなど通行に支障を来しているが市の対策は。

市長 本年度から施設のパトロールを始め、清掃・草刈りなどを行うインフラ施設等清掃員を9人配置し、異常箇所の発見、早期対応に努めています。

酒永 横断歩道などの区画線等の定期的チェックと安全対策については。

市長 広島県公安委員会に管理を願うとともに、江田島市通学路安全点検プログラムに基づき対策

を実施してまいります。

酒永 外灯、港湾灯、カーブミラー等の安全施設の保全、修理の迅速強化については。

市長 職員自らの定期的パトロールや、市民通報により現地確認を行い、必要な修繕を行っています。さらに郵便局やタクシー協会江能支部との協定により監視体制の強化をはかり、迅速な対応に取り組めます。